防衛大臣　河野　太郎　様

2020年5月　日

前衆議院議員・大平喜信

日本共産党山口県委員会

日本共産党鳥取県委員会

新型コロナ問題でのご努力に敬意を表します。

私たち中国5県の日本共産党は、地方議員を先頭に「新型コロナ禍」の地方の住民の声を聞き、地方自治体に向けて様々な要望をしてきました。そして自治体や関係機関・団体の皆さんと協力して住民の命と暮らし、営業をまもるため取り組んできました。

そうした中、どうしても国の対応と措置が切実に求められている課題も明らかになってきました。以下、その課題を県別に列記させていただきます。ぜひ「地方の切実な声」として受け止めていただくようお願いするものです。

**山口県委員会からの要請**

＜米軍岩国基地に係る問題について＞

1. 米軍岩国基地内の米軍人・軍属、それらの家族のコロナ感染の実態、ＰＣＲ検査の実施状況感染者への対応などについて、情報提供すること。
2. 米軍岩国基地内で働く日本人労働者への感染防止策（例えば、自宅待機や自宅での仕事といった措置など）を明らかにしてほしい。
3. ５月１５日付中国新聞では、「岩国市内の全４６小中学校の児童数生徒は、９４５２人。市教委は基地関係者の子どもの正確な把握はしていないが、１００人～２００人が基地規制を理由に休んでいるとみている。」と報じているが、実態を明らかにすること。
4. 在日米軍司令部は５月１２日、日本の米軍施設を対象とした公衆衛生非常事態宣言の延長を発表し、「６月１４日までの予防措置の継続を求めた」と報じられているが、在日米軍基地内の感染状況や感染防止策など、正確な情報の提供を強く求めること。
5. 米国防総省が３月３０日に、個別の事案を非開示にすることを公表した具体的内容と自治体に行った対応を明らかにすること。
6. ３月下旬に横須賀市の保健所担当者と協議した事実はあるのか。あれば、その内容を明らかにすること。
7. 米軍岩国基地を始め他の在日米軍基地に、新型コロナウイルス感染症の患者の情報に関わる問題について所管する自治体の保健所担当者と協議した事実はあるのか。あればその内容を明らかにすること。
8. 日米合同委員会の覚書に基づいて、新型コロナウイルス感染者の情報は、所管の保健所に情報が開示され、保健所は、その情報を自治体住民に開示できるものと理解していいのか。

**鳥取県委員会**

＜米軍機・自衛隊機の低空飛行訓練について＞

* 新型コロナウイルス対策に各国が集中しなければならない今、米軍機（オスプレイ含む）や自衛隊輸送機の低空飛行訓練が繰り返されていた。即時中止すること。

　※目撃情報：

●４／１１輸送機が氷ノ山方向へ。山にぶつかりそうな高さ。●４／３０米軍機3機が相次ぎ氷ノ山の方向へ。●５／１米軍機が相次ぎ2回（各1機）が氷ノ山の方向へ。●５／４米軍機（腹が見えた）が戸倉峠方向へ2機。若桜町通過前、鳥取市河原町上空で2度旋回訓練。●５／８輸送機1機が鳥取市河原町方向へ。●５月１１日輸送機が1時間おきに2回、各1機が旧八東町方向へ。●５／１４輸送機がほぼ同時に2機が若桜町上空を氷ノ山方向へ。途中旋回し、戸倉峠方面へ。

以上